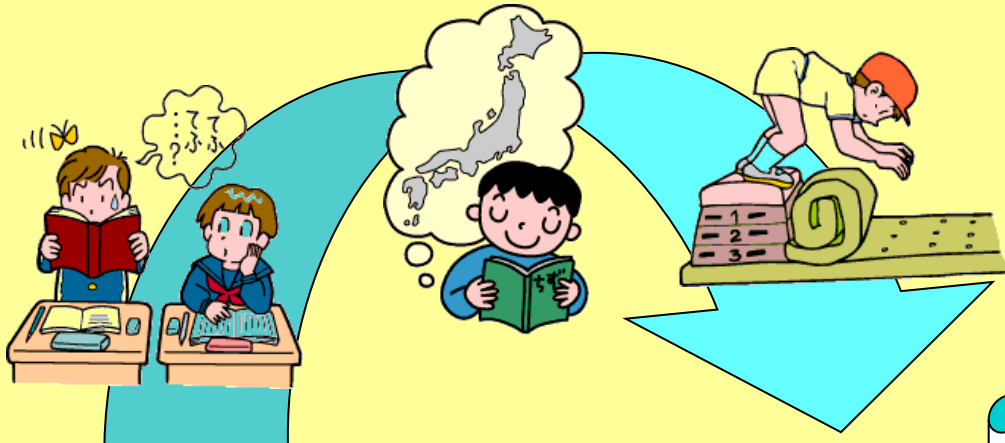




学習指導案の書き方再確認！



学習指導案 書き方の基礎・基本

改訂版



令和3年度
久留米市教育センター

～ 目 次 ～

| | |
|-------------------------------------|----|
| ○ 学習指導案の一般的構成とその意義 | 1 |
| ○ 「単元(題材・主題)」について | 2 |
| ○ 「指導観(単元・題材観)」について | 3 |
| ○ 「指導観(児童生徒観)」について | 4 |
| ○ 「指導観(指導観)」について | 5 |
| ○ 「目標(単元目標)」について | 6 |
| ○ 「計画(単元計画)」について | 7 |
| ○ 「本時(主眼)」について | 8 |
| ○ 「本時(過程)」について | 9 |
| ○ 学習指導案の実際 | 10 |
| ○ 「ファイル共有サーバ」に 「学習指導案」たくさんあります!! | 12 |

学習指導案の一般的構成とその意義



学習指導案って、何のために書くの？
何をどのように書いたらいいのかな？

第〇学年〇組 〇〇科学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

単 元 (題材・主題)

指導観

○単元・題材観

○児童生徒観

○指導観

目 標

計 画

本 時

○主眼

○準備

○展開

学習指導案は、各学校等で様々な形式があると思いますが、

- ①児童生徒に何を身に付けさせるのか。
- ②そのために教師はどのような授業を行い、どう指導するのか。

を明確にするものです。

教師として最も基本的なことですね。

一般的に、このような構成で書きますが、
改めて、これらをひとつずつ確認していきましょう。



【「若い教師のための教育実践の手引 (R3年度版) 福岡県教育委員会」から】

学習指導案を書く意義



毎日、毎時間、全ての授業の学習指導案を書くのは、当然大変ですし、時間が足りません。しかし、自分の授業の綿密な計画や振り返り、指導と評価を一体化した実践、そして、何よりも児童生徒の確実な学習内容の定着のため大切なものです。若年の先生方だけでなく、多くの先生方が年間複数回学習指導案を作成することで、教師としての自分の力量を高めるとともに、それぞれの単元における目指す児童生徒像を明確にしていくことが大切ですね。



「単元(題材・主題)」について



学習指導案の「単元(題材・主題)」って、教科書に載っている単元名や項目名を書けばいいのかな？

学習指導案によっては、「単元名」「主題名」「題材名」など、様々な表記の仕方がありますが、通常は、教科で統一されています。例えば次のように表記されますね。



単元で示した場合の例(主に教科書に記載されている学習内容等のまとめ)

「三角形と四角形」(小:算数科) 「水溶液の性質」(小:理科)
「アフリカ州」(中:社会科) 「いにしえの心を訪ねる」(中:国語科)

題材で示した場合の例(教材、学習活動、材料や用具、目標や内容・計画等のまとめ)

「黄色いベンチ」(小:道徳科) 「たのしい食事」(小:家庭科)
「木彫タオルハンガー」(中:美術科)
「自分のよさを生かせる職業を調べよう」(中:学級活動(3))
※学級活動(1)の場合は、「題材」ではなく、「議題」になります。



「単元」と「題材」の表記は似たところがあるんだな。主に、児童生徒の学習内容が明確にわかるな。

主題で示した場合の例(学習目標、学習方法や学習計画等のまとめ)

「お話の作者になろう」(小:国語科) 「動物ランドへようこそ」(小:図画工作科)
「技を磨いて一本を目指そう」(中:保健体育科)
「外国からの観光客の方にお勧めのグルメを提案しよう」(中:外国語科)



主に単元の学習の目標や学習の計画がイメージできるな。

「指導観(単元・題材観)」について



この指導観の3つは、どこに何をどのように書くのかよくわからないな。文章も長いし……。

そうですね。それぞれ文章も長いし、学習指導案の1枚目だから、ここで滞ってしまうことが多いですね。どのような内容を書くのか確認していきましょう。



単元・題材観(教材観)に書くこと

- ①単元・題材の説明とその価値や意義、選定した理由等
- ②単元・題材に対する教師の考え等
- ③その単元・題材を取り扱うことにより期待される効果及び系統性等

【小：音楽科の例】(①～③は、上記の記載内容)

①本題材「もみじ」は、学習指導要領の「歌詞の内容に……」と、「呼吸及び……」を受けて、歌詞の内容や曲想にふさわしい……目指すものである。②日本の代表的な……親しまれて、誰もが聴いて心に……、二部合唱における……美しく楽しい題材である。③この題材を通して、歌詞の内容から情景を思い浮かべて曲想を生かして表現する技能や響き合いの美しさを味わいながら……二部合唱を楽しむ心情を育てることができると考える。

【中：国語科の例】(①～③は、上記の記載内容)

①論説文とは、書き手が強調したいことを筋道を立てて記した文章で、……読み手を説得したり、共感を求めたりする説明的文章の一つである。②生活の中には、説明的文章が多く存在しており、……なかなか読もうとしないのが現状である。③そこでこの題材を取り扱い……なので、自分の意見を主張する……説得力のある文章構成、順序だてて書いたり伝えたりするよさを実感することで、……大変意義深い。



単元・題材観を書くことで、教材のよさを再確認し、教材研究を深めることができそうだな。

「指導観(児童生徒観)」について



児童生徒の日頃の様子や雰囲気、活発であるか、よく発言するか、学習に意欲的かなどを書くところだな。

はい、その通りですが、ここで書くのは、**単元・題材観で書いた内容に対して、児童生徒の実態がどうなのか**を書きます。事前アンケート等をとって、まとめるとわかりやすくなります。



児童生徒観に書くこと

- ①単元・題材に対する学習経験、興味・関心の度合い等
- ②単元・題材に対する理解度、習熟度等
- ③単元・題材に対する児童生徒の実態の総括等

【小：社会科の例】(①～③は、上記の記載内容)

①本学級の児童は、事前アンケートによると「歴史学習に興味がある」と答えた児童は3分の2であり・・・という結果であった。②また、本時につながる前単元の振り返りから、歴史学習において、想像図から登場した時代とつなげて関連を・・・は理解できているものの、当時の時代背景との国の政策について資料をつなげて考えることができていないことが分かった。③これらのことから、歴史学習に対する意欲はあり・・・理解しているが、・・・や歴史的事象の意味合いを予想することが苦手であることがわかる。

【中：保健体育科の例】(①～③は、上記の記載内容)

①本学級の生徒は、事前の調査によると、柔道を経験している者は3名で、ほとんどの生徒が未経験であり柔道着を着たこともない。また、・・・であり、・・・柔道に対する興味・関心は3.4(5段階評定尺度法による学級平均値：以下同)、挑戦意欲は3.5であった。②また、試合で勝敗が・・・説明できる生徒は4名であり、ルールや試合の進め方などの理解度については1.6という結果であった。また、・・・という回答が多かった。③これらのことから、本学級の生徒たちは、柔道に対して、経験がなく「痛い」「怖い」などマイナスイメージを多く持っており、ルールや技、試合の進め方などほとんどの生徒が理解をしていないと考える。



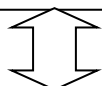
児童生徒の実態を数値で示せば、何がわかっていて、何がわかっていないのかが、明確にできるな。「元気で、仲良く」の情報はいらないな。

「指導観（指導観）」について

指導観（指導観）では、児童生徒の実態を踏まえ、その単元・題材で、何を指導するのか具体的に書きます。

【単元・題材観】

このような単元・題材（教材）で



【児童生徒観】

このような実態であるから

【指導観】

このような学習活動（手立て）で、工夫して指導する



指導観に書くこと

- ①単元・題材観と児童生徒観を踏まえた、指導の重点、目標等
- ②学習の流れに沿った、指導目標に対する中心となる手立てや指導の工夫、学習形態や教師の支援等

【小：道徳科の例】（①、②は、上記の記載内容）

①指導にあたっては、司教が銀の食器を盗んだジャンにとった言動を考えることで、相手と同じ立場に立って考える心情を育てたい。②そのために、「つかむ段階」で「人の失敗を許せるか」・・・について考える活動を設定する。そして、・・・により、本時学習のめあてを確認する。次に「つくる・深める」段階では、盗みをはたらいたジャンに対して・・・さらに、司教の言動の理由について書いて考え、小グループで・・・また、全体交流する活動を設定する。更に「いかす」段階では、・・・するよう助言する。最後に「まとめる段階」で、・・・学びを振り返る活動を設定する。

【中：数学科の例】（①、②は、上記の記載内容）

①そこで指導にあたっては、空間図形の性質を理解するとともに、日常の空間図形の性質を適用したよさに気付くことができるようにする。②そのために次のような手立てをとる。まず、第一次で身の回りの立体の構造をモデルにした・・・に置き換えることができるように、・・・する。次に、第二次において、空間図形に対する理解を深め、日常に潜む事象を・・・することができるように・・・で操作的な活動を設定する。最後に、第三次で、空間図形が日常生活で役立っていることのよさを・・・のために、・・・する活動を設定する。

「目標(単元目標)」について



単元の目標は、知っている！ 単元全体でねらうことを、
資質・能力の3つの柱に沿って、項立てて書くんだ。

その通りです。単元の目標は、一般的に学習指導要領の教科・学年目標、
内容等をもとに児童生徒の実態に応じて書きます。

児童生徒の学習目標（「～～できる。」「～～しようとする。」）で書く場合と、
教師の指導目標（「～～できるようにする。」「～～しようとする態度を育て
る。」）で書く場合があります。

どちらでもよいですが、学校での書き方に合わせましょうね。



目標(単元目標)に書くこと

① 「知識及び技能」に関する目標

「～～することができるようにする。」

「～～について理解することができるようにする。」 等

② 「思考力、判断力、表現力等」に関する目標

「～～を説明することができるようにする。」

「～～の課題を設定することができるようにする。」 等

③ 「学びに向かう力、人間性等」に関する目標

「～～しようとする態度を育てる。」

「～～に生かそうとすることができるようにする。」 等

※ 以前は、単元目標と評価規準は同じ観点で書いていましたが、現在は、
単元目標は、資質・能力の3つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」
「学びに向かう力、人間性等」）で、
評価規準は、評価の3つの観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り
組む態度」）で書きます。

【中：理科（生徒の学習目標）の例】（①～③は、上記の記載内容）

- ① 実験や観察を通じて、水溶液の性質や・・・な概念や原理・法則を理解することができる。【知識及び技能】
- ② 水溶液の中和に関して・・・見出し、・・・を考え、観察・実験の結果をもとにイオンのモデルで自分の考えを表現できる。【思考力、判断力、表現力等】
- ③ 酸性とアルカリ性の水溶液や・・・に進んで関わり、それらの事象を日常生活と関連付けて考察しようとする。【学びに向かう力、人間性等】

「計画(単元計画)」について



計画(単元計画)は、2種類の書き方をよく見るんだけど・・・

【A】

| | |
|---|---|
| 計画(全12時間) | 7 |
| 1 水と水蒸気の状態変化の関係について | 7 |
| (1) 結露の実験…① (2) 沸騰の実験…② (3) 沸騰時の泡の正体…② 本時 | |
| (4) 蒸発の実験…② | |
| 2 水と氷の状態変化の関係について | 4 |
| 3 水と氷の状態変化の関係について | 2 |

単元計画 計9時間

| 配時 | 学習活動・内容 (◆交流活動) | 指導のねらい・手立て (◆交流活動における手立て) | 観点 (方法) |
|----|--|---|----------------------|
| 3 | 1. 傷害はどのようなことが原因で起こり、どうすれば防止することができるかを理解する。 (◆高め合う) | 傷害の防止において、危険予測・危険回避の能力を身につけるために、具体的な想定場面で危険を見抜けるようにする。 | 主(様) 恩(フ) 知(フ) |
| | 2. 中学生の交通事故には、どのような特徴があるか考える。 | 傷害はどんなことで起こり、どうすれば防止できるかを理解するために、具体的な場面を想定して、危険を予測する交流活動の場を設定する。(◆) | |
| | 3. 交通事故を防ぐためには、どのような対策が必要か話し合う。 | 自転車や自動車の特性を知り、交通法規を守り、車両、道路、気象条件などの周囲の状況に応じ、安全に行動することが必要であることを理解できるようにする。 | |

【B】



はい、図の【A】【B】の2つの形式を見ますね。

【A】の形式は、主に学習のタイトルや教科書の項目と時数等のみ

【B】の形式は、項目にあるように、具体的な学習活動、ねらいと手立て、評価等を記入する形式になっています。【B】は学習活動の具体的な内容や単元を通じた児童生徒の思考の流れ等が分かりやすくなり、指導と評価を一体化した計画になります。今求められている主体的・対話的で深い学びの実現には、習得・活用・探究という学びの過程が求められていますので、【B】が望ましいですね。ここでは、【B】の一般的な記入の仕方について確認します。

| 段階 | 学習活動・内容 | 指導上の留意点 | 評価規準(観点:方法) |
|---------------------------------|--|--|---|
| 導入 | 1 身の周りの立体の特徴や・・・を調べる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習への興味・関心を高めるために、身の周りの立体を探し、発表するよう指示する。 立体の種類に気付くことができるよう | <ul style="list-style-type: none"> 立体の性質に潜む特徴について関心を持つことができる。(主体的に学習に取 |
| 展開 | (1) 立体の種類を分類する。 ・柱体 ・錐体 ・球 など | | |
| 終末 | 「1、2…」 「(1)、(2)…」には、 児童生徒が行う学習活動 「・」には、 具体的内容(体言止め)や予想される子どもの反応等 | | |
| 【または】 一次 二次 三次 【など】 | | | |

「本時(主眼)」について



主眼は、いくつ書くの？
1つ目は、知識及び技能面を、2つ目は、思考力、判断力、表現力等に関することや手立てを……
ん！？ 主眼に 手立て ??????

主眼(ねらい)に、手立てを書く必要はありません。
手立ては、本時「過程」の「指導上の留意点」に書きます！
その際、資質・能力の3つの柱のうち、何を本時でねらいにしているのか、明確に示しましょう。一般的に「～できるようにする。」と教師の指導目標で書きます。



主眼に書くこと

○本時で身に付けさせたい資質・能力

【知】「知識及び技能」 【思】「思考力、判断力、表現力等」

【学】「学びに向かう力、人間性等」

【小：外国語活動の例】(【知】と【思】の資質・能力に関する主眼の例)

“What~do you like?” “I like~.”を用いて、友達の好きなものをインタビューできるようにする。

【小：道徳科の例】(【学】の資質・能力に関するねらいの例)

親切にすると相手も自分もうれしい気持ちになることに気づき、身近にいる人に進んで親切にしようとする心情をもつことができるようにする。

【中：特別活動(学級活動)の例】(【思】と【学】の資質・能力に関する主眼の例)

「○組学力アップ作戦」の取組に関して課題意識をもち、学級の一員であることを自覚しながら、自他の考えの良さを生かして合意形成を図ることができるようにする。

【中：保健体育の例】(【思】と【知】の資質・能力に関する主眼の例)

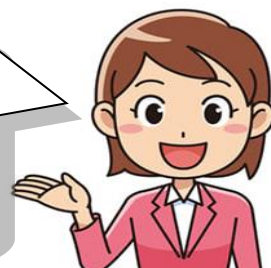
固め技の有効性に気付くとともに、袈裟固めの技を身に付け、試合で実践することができるようにする。

「～を通して」や「～しながら」などを記入すると、本来のねらいが何なのか見えにくくなりますね。



「本時(過程)」について

本時の過程は、ご存じのように
学習活動、学習形態、指導上の留意点、評価規準、配時等
 を記載します。
 形式は、各学校において様々ですが、一般的には次のようなこ
 とに留意して作成しましょう。



| 段階 | 学習活動・内容 | 形態 | 指導上の留意点 | 評価規準 (観点:評価方法) | 配時 |
|----|--|----|---|---|----|
| 導入 | 1 準備運動を行い、本時の活動と めあての確認を行う。 (1)準備運動を行う。 ・ランニング ・下肢部のストレッチ ・各種もも上げ歩行 「1、2…」 「(1)、(2)…」には、 児童生徒が行う学習活動 「・」には、 具体的内容(体言止め)や予 想される児童生徒の反応等 | 一斉 | ・けがを防止し、安全に学習を進 むることができるように、教師 が模範を示しながら下肢部を 中心に筋肉や関節を弛緩する 準備運動を設定する。 主に、 ○手立て ○学習活動のねらい を記述する。 一般的には 「～～のために、☆☆を 設定する。」 | ・自分の走り方についての 課題を設定することができる。(思:学習カード) 3つの観点 「知識・技能」 「思考・判断・表現」 「主体的に学習に取り 組む態度」 から評価規準を示す。 一般的に 「～～できる。」 「～～している。」 | 5 |

「主眼」「めあて」「まとめ」の関係



「主眼」は教師の指導
 目標、「めあて」は児童
 生徒の学習目標です。
 また、本時の「まとめ」
 は、「めあて」に対応し
 たものになっているこ
 とで、それが、一般化
 したまとめになること
 で、本時の学習が深い
 学びにつながります。

小学校低学年体育例

【主眼】 水中で目を開け、もぐったり浮いたりすることができるようにする。

【めあて】
 フェールの中で
 水中じゃんけんをしよう



【まとめ】
 ・3回勝って、2回負けた
 ・相手の笑った顔が見えた
 ・きれいだった(きらきら)
 ・スイミーになったみたい

「水の中で目を開けるといふような発見があるね…」

中学校第2学年数学例

【主眼】 多角形の内角の和の求め方を論理的に説明することができるようにする

【めあて】
 正五角形の
 内角の和を調べよう



【まとめ】
 ・正五角形の内角の和は540° それは…
 ・五角形の内角の和はどれも540°それは…
 ・n角形の内角の和 $(n-2) \times 180^\circ$ で
 求められる。それは…

学習指導案の実際

最後に、これまで確認した学習指導案の内容に沿った、実際の記載の例を示します。参考にしてください。あくまでも例示です。



第□学年□組□□科学習指導案

指導者□久留米市立□□学校 □□ □□

単元 □□□□□□□□

指導観

- **【単元・題材等の説明とその価値や意義、選定した理由等】** 本単元（題材・主題）□□□□は、□□□□□であり、□□□□□することができる教材である。**【単元・題材に対する教師の考え等】** 本単元において、□□□□□にすることができると思う。このことは、**【その単元・題材を取り扱うことにより期待される効果及び系統性等】** □□□□□する心情を育むとともに□□□□□へと発展する効果が期待されると考える。
- **【単元・題材に対する学習経験、興味・関心の度合い等】** 本学級の児童生徒たちは、事前の□□□□□アンケート（○○調査）によると、○年で□□□□□についての既習経験があり、□□□□□であることから関心が高いことがうかがえる。**【単元・題材に対する理解度、習熟度等】** また、□□□□□□から□□□□□については理解しており□□□□□についても概ね説明することができる。**【単元・題材に対する児童生徒の実態の総括等】** しかし、□□□□□ということから□□□□□や□□□□□が苦手であり、□□□□□して考えることができていることがわかる。
- **【単元・題材観と児童生徒観を踏まえた、指導の重点、目標等】** そこで、指導にあたっては、□□□□□をとらえていくようにする。
そのために、まず第1次（導入段階）では、□□□□□することができるように、□□□□□する活動を設定する。その際、□□□□□を活用し□□□□□させる。次に、第2次（展開段階）では、□□□□□することができるように□□□□□する活動を設定する。そして、第3次（終末段階）では、□□□□□することができるように□□□□□する活動を設定する。

目標

- **【「知識及び技能」に関する目標】** □□□□□を理解するとともに、□□□□□ができるようにする。
- **【「思考力、判断力、表現力等」に関する目標】** □□□□□に関連付けて説明することができるようにし、□□□□□について考察することができるようにする。
- **【「学びに向かう力、人間性等」に関する目標】** □□□□□に関心をもち、□□□□□について追究しようとする態度を育てる。

「学習指導案 書き方の基礎・基本」

【改訂版】

令和4年 3月発行

編集・発行 久留米市教育センター
調査研究 学力向上班